

# 帯広畜産大学同窓会報

第21号 平成26年12月 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学内 帯広畜産大学 同窓会事務局発行

## 畜大内にカフェ「Farm Designs」オープン



昭和60年卒業の海野と申します。当時の家畜生産科学（肉畜増殖学研究室、小野斉先生）を卒業後2年ほど農協職員をやったあと、1987年釧路管内浜中町に新規就農し牧場をはじめました。当時よりハーゲンダッツの原料として使われるほど優秀な牛乳を生産していた浜中町ですが、その牛乳を地元で飲めるところがなくおかしいと感じ2000年牧場内にレストラン「ファームデザインズ」をオープン。乳処理場も設け自家産のミルクを始め牛乳のおいしさをPRできる料理などを提供し始めました。料理が自慢だったのですが料理に負けないようにデザートも一生懸命作っていたところ、それがたまたま訪れた百貨店バイヤーの目にとまり札幌の百貨店に出品することに。それをきっかけに全国の百貨店での「北海道物産展」などに呼ばれるようになりました。現在では年間30ヶ所程度全国の催事に呼ばれ出店しております。2010年タイの大手ビール会社からフランチャイズをしたいとの申し出があり、2011年タイ、バンコク市内にチーズケーキを主体としたスイーツカフェ「ファームデザイン」1号店をオープン。物価の違いもあり心配したのですが連日人だかりの大成功。2014年11月には15号店をオープンするほどになりました。バンコクの若者が憧れる北海道ブランドにまで成長してお

ります。この成功を受け近隣の東南アジア諸国からのフランチャイズに関する問い合わせが増え、今後まだまだ拡大していけるものと考えております。国内ではリゾート運営の旗手として取り上げられることの多い星野リゾートと提携。星野リゾートが運営する北海道のトマムスキーリゾートにおいて「北海道農業のショーケース」として多くの観光客の方に見て理解を深めて



いただける新しいスタイルの牧場経営をめざし動き始めております。トマムで活動を始めたさなか、帯広畜産大学を特集したTV番組が放映され、私も少し出演した御縁で大学の小池教授（私の1年先輩にあたります）からご連絡を頂き、大学にもカフェを出しませんかとのご提案を頂きました。さっそく学長にお話を聞いたところ、産学協同の一貫として学生たちに生のビジネスの現場を体験させられる場としても協力していただきたいとの申し出を受け、私もそのことに大変共感をもったので今回母校にも出店させていただきました。学内のかしわプラザ内、もとコンベンションホールの場所にございます。牛の現場から消費者の考え方で勉強させていただいた私の経験が少しでも学生たちに役立ち、将来を考える一助になればと願っております。



営業時間 冬期10:00~17:00  
夏期 8:30~19:00  
定休日は日・祝日（土曜日営業）

## 同窓会近況報告

会 長  
由 佐 壽 朗  
(昭和41年農化)



会員の皆様、日々お元気でご活躍のことと推察しお慶びを申し上げます。

でも今夏の相次ぐ大型台風や低気圧による土砂災害等で被災された関係者の方々には心よりお見舞い申し上げます。

北海道十勝も近年にない美しい紅葉の秋が足早に通り過ぎ一部積雪の報も入っています。第21号会報発刊の時期になりました。10月18日に第1回役員会および代議員会が逍遙舎、かしわプラザで行われました。先日亡くなられた吉川睦夫顧問の黙祷の後、議題と報告事項の承認等無事終了いたしました。役員、代議員の皆様方には同窓会の現状や厳しい財政状況をご理解いただき深く感謝いたしております。

準会員の終身入学金のみの収入での運営にできるだけ節約する英知を沢山いただきました。80周年に向けて寄付のみに頼らず、少しでも自立すべく校章を入れたグッズ類（帽子、タオル、ジャンパーetc.）の販売と企画等々建設的な提案をいただきました。次回12月6日の役員会で前向きに検討させてもらおうつもりです。

各支部の活動報告の中で大変感銘を受けた土幌支部のご紹介をしたいと思います。十勝の土幌支部は今田忠夫さんを会長とする80余名の同窓生からなる和やかな支部です。農畜産業者、役場関係者、農協職員、商工業者等様々な業種の方々に構成されています。今田会長がマンマー留学生の方々と懇意で、先年マンマー支部設立に尽力くださいました。留学生のタンタンさんが研修卒業し獣医師として帰国することになり畜産大学使用後の分析、試験用機械 HPLC マシンをマンマーの獣医大学でまだ再利用できるとの申し出に何とか協力しようと、土幌支部の皆さん、畜大のK先生そして十勝の有志の方々の支援で多くの難関を突破しやっとの思いで善意がヤンゴンに到着しました。送料の一部は土幌支部の皆さんが負担したそうです。国の厳しい規制をクリアしての情熱とパワーに拍手を送り紹介いたしました。

今秋、かしわプラザに「ファームデザイン」という同窓生の経営するカフェが誕生しました。寒さ迎える折会員の皆様、母校に立ち寄り美味、コーヒーとスイーツでほっこりしませんか!!

## 大学近況報告

学 長  
長 澤 秀 行  
(昭和53年獣医)



国立大学が平成16年に法人化されて10年が過ぎました。6年毎の中期目標計画期間も第2期があと1年半で終了し、平成28年4月から始まる第3期に向けて、今は大学改革の加速期間と言われています。

国から予算が措置され、文部省の指示を受けつつ、教授会の審議により大学運営をしていた頃とは大きく変わりました。「大した優遇を受けている訳でもないが、大学の先生も悪いものではない。自分の好きな学問を思うままに研究し、未来の国家の中堅人物を教育して行けば良いのであるから、至極呑気な職業だとも言える。それで給料が安いなどこぼすのは勿体無い話である。」とは、初代学長の宮脇富先生の言葉です。今も基本的には同じです。教育の場として、ゆとりある環境は重要ですし、大学の自主自律も必要です。しかし、社会の情勢に応じて将来を見据え、民間の手法を取り入れて緩やかな機能分化を進めるのが、法人化以降の国立大学改革プランでした。

第3期は、持続的な競争力を持ち、高い付加価値を生み出す国立大学法人への転換を加速させ、それぞれの役割やミッションを踏まえた国立大学の機能強化を徹底させることが必要で、改革の度合いに応じて運営費交付金の配分方法を見直すと言われています。予算にメリハリを付けるために、「優れた取組みを行う大学」には3～4割増しの交付金重点支援を行い、「何もしない又はあまり優れていない取組みを行う大学」には交付金見直しを行うというのが国の方針です。まさに正念場です。幸い、本学は全教職員一丸となって、企業連携と国際教育連携により「畜大型グローバル人材」を育成するという抜本的機能強化を進める大学として文科省から認められ、改革構想を有する「優れた取組みを行う」大学群に位置づけられています。

今後とも、同窓生が築き上げた実績のもと、社会に高く評価される大学づくりを進めて参りますので、引き続き、皆様のご支援ご協力、よろしく願い申し上げます。

## 副学長(総務・財務担当)・ 事務局長に就任して

副学長・事務局長

多田晴観



本年4月1日付で、副学長・事務局長に就任しました。よろしくお願いいたします。前任地は北海道大学です。札幌で過ごした2年間は、例年に無く雪の多い冬の2年間でしたが、帯広は雪が少ないとのことと雪かきから解放されることを期待しております。

国立大学法人の現状を簡単に説明させていただきます。戦後最大の制度改革と言われた国立大学法人化から10年が経過しましたが、日本の経済情勢等から、日本再興戦略に観られるように、社会の国立大学に対する期待と要求は高まるばかりで、取り巻く状況はますます厳しいものとなっています。昨年11月には「国立大学改革プラン」が策定され、国立大学に対してグローバル化やイノベーション機能の強化、人事・給与システムの弾力化が求められ、その実現のためにガバナンス改革や学長のリーダーシップの確立が求められております。

第2期中期目標期間の残りの2年間は改革加速期間と位置づけられ、文部科学大臣は全国の学長会議の場で改革に取り組みない大学は淘汰もやむを得ないとの発言により国立大学に改革を促しましたが、国の対応は既にどんどん変わっており、平成27年度概算要求においては単なる従来型プロジェクトの要求は受け付けないという状況です。

幸い本学は、第3期中期目標期間に向けた機能強化策として、平成27年度概算要求において「食と動物の国際教育研究拠点の形成」が採択されました。内容は、獣医・農畜産分野において、国際通用生を備えつつ、食の安全確保に資する教育課程及び食品関連企業との連携により即戦力人材を育成するものです。新たに「グローバルアグロメディシンセンター」を設置し、コーネル大学やウイスコンシン大学等から研究者を招聘し、国際共同研究を推進することとしています。予算編成が順調に進み、平成27年度予算が認められることを願っております。

施設整備の状況ですが、国からの補助の他、寄付、自己資金により、老朽施設の改修や動物・食品検査診断センター等施設の整備が進み、他に胸を張れるキャンパス環境となって参りました。現在は、獣医学教育の国際認証を取得する上で中心となる産業動物臨床棟、飼育棟の工事が進行しております。平成25年度に予算措置されたものですが、建設業界の深刻な人材不足と工事費高騰の影響から契約が遅れ、完成は平成27年度にずれ込む見込みです。引き続き老朽、機能劣化した

図書館や講堂等の対応が必要となっております。

本学は法人化後10年間で平成16年度と比べ運営費交付金が540百万円(△17.8%)削減されております。この間、人員削減等の効率化や外部資金の確保に努められる成果を上げて参りました。第3期中期目標期間に向け、本学が存在を發揮し、持続的に発展していくため財源確保等、精一杯努力して参りますので、同窓会の皆様のご支援とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



## 関東同窓会の近況

関東同窓会会長

萬場光一

(昭和41獣医)



富士山の初冠雪、今年は10月16日でした。御嶽山の噴火や台風18・19号の日本列島縦断・豪雨といい多難の有り様でした。その後この原稿を書いている前後は、北海道の平地に積雪があり、関東では木枯し1番が吹きました。着実に季節は冬に向かっていきます。先ずH26年度の畜大関東同窓会の様子についてご報告いたします。先ず、恒例の支部会総会が6月21日(土)銀座ライオンで18:00~20:00まで開かれました。参加者は畜大からの5名を含め65余名の方々のご参加を頂き盛大に開催されました。大学からは長沢秀之学長(53V)、多田晴観副学長兼事務局長、由佐壽朗同窓会会長(41C)、岸本 正同窓会本部名簿担当役員(55T)と辻 修事務局長(53T)にご出席頂きました。紙面を借りて篤くお礼申し上げます。先ず、開会に先立ち、物故会員3名、小林澄子(26C,23.12)さん、橋本 健(29D,25.11)さんと堀田和貞(53環境、20)さんに対し黙祷を捧げました。次に会長の挨拶の後総会に入り、副会長の太田修一(40V)さんにより議事が進行され、平成25年度事業報告、会計報告等がされました。更に、森田邦雄(V41)さんの叙勲が報告されました(25年度秋の叙勲、瑞宝小綬賞)。続いて懇親会に移りました。先ず、渡部憲嗣副会長(32V)開会の挨拶があり、次いで長沢学長から大学の現況と平成25年12月20日発売の畜産フィールド科学センター乳製品工場において製造した畜大牛乳アイスクリームの紹介があり、わざわざ同アイスクリームをお持ち頂き参加者全員に振る舞って頂き有り難うございました。味は濃厚でパッケージは畜大牛乳と同様に本学の放牧風景がデザインされ、畜大を卒業して経年たった者にとっても大学等を思い出す良い縁がとなり、又、大変おいしかったです。次に、

由佐壽朗同窓会会長から昨年開催された同窓会総会の内容についてのお話とお礼がありました。守田貞公顧問（28V）に因る乾杯から懇親会に入りました。各テーブルでの歓談は勿論、恒例のプロのコーラスグループの歌も入り大盛況でした。今年度は特に、当会の資金事情の為、澤田拓士幹事（45V）の発案によるカーボイハットを各テーブルに回し寄付を募りました。想定外の金額が集まり当事者として皆様に篤くお礼申し上げる次第です。予定時間を過ぎても未だ話し足りないという状況でした。尾形眞二幹事（39V）に因る閉会の辞を以て、来年の再会を確約しつつお開きになり、即二次会に繰り出し、例年になく多数のご参加を得てこれまた大盛況で、ご参加頂いた皆様に深謝する次第でございます。

以上が平成26年度関東同窓会総会の主な内容でございます。

## 士幌会の近況

士幌会支部長

今田 忠 夫

（昭和48年別科）



同窓会館逍遙舎にて士幌会の野遊会を持ちたいとかねがね思っていました。7月12日（土）の午後、母校に士幌の仲間が集い行うことが出来ました。

現在、士幌町内に84名の同窓生がおりますが、23名が野遊会に集まってくれました。

当日は長澤学長、由佐同窓会長も来てくださり士幌会の仲間、そしてかねてから交流を続けているマンマーの仲間も研究室から駆けつけて下さり共に懐かしい母校で午後のひと時を過ごすことが出来ました。

前段で学内見学が出来たらと思っていたところですが、土曜の午後にも関わらず長澤学長が学内を案内してくださり本館、図書館、碧雲寮など懐かしい学び舎の中を見て回ることが出来ました。

数十年ぶりの母校という仲間も多く学内を見て回る仲間から、学生時代の思い出をそこそこに見つけ声を弾ませる姿も多く見られました。

学内見学の後、同窓会館“逍遙舎”にて学長、由佐同窓会長と共に生協に準備をお願いした焼き肉パーティを行い、学長からはいつでも同窓の皆様に逍遙舎を使って頂きたいとお話を頂き、また太田前同窓会長からは、逍遙舎を立てるに際し角ログを由佐同窓会長が非常に苦勞して探してくださり完成した事などのお話を聞かせていただくことも出来ました。

多忙な中、一支部の活動の為に時間を割いて下さいました長澤学長、由佐同窓会長に改めて感謝申し上げます。

同窓生の拠点、拠り所として作っていただいた逍遙舎で夕方近くまでバーベキューを共に楽しみ懇親を深めた後、久しぶりの母校からまたエネルギーを頂き楽しい会を終えそれぞれ帰町しました。

## 三重県支部の近況

三重県支部長

白井 茂 雄

（S45獣医）



去る10月26日、今年の支部総会を津市で開催しました。今回は2年前に引き続き本部の砂川副会長に再び来賓としてご参加いただき、参加者は総勢8名と少人数でしたが、有意義で楽しい総会となりました。それも砂川副会長ご参加の賜物であり、何よりも母校と帯広の最新情報を知ることができて大変良かったです。中でも映画・アニメ・コミック本「銀の匙」効果で母校への観光客が増えたこと、構内の「かしわプラザ」にお洒落なカフェレストラン「Farm Designs」がオープンしたことなど、興味深く拝聴しました。私は不覚にも最近になって「銀の匙」を知り、内容から多分「帯広農高」がモデルでは、と直感したものの、母校がその中に出てくるとは知りませんでした。でも参加者の中で一番若いI君（H22獣医）はコミック本・全12巻を既に読破したとのこと。若い人はさすがで、知らぬは私をはじめ年寄りばかりでした。

さて当支部の同窓生は61名で、卒業年次は昭和が30名、平成が31名と平成の方が上回りました。最古参は昭和30年卒、最新は平成23年卒ですが、今回は奇しくも最古参の櫻井武夫氏（S30獣医）と2番目に若いI君（H22獣医）の参加で、新旧50年余の年齢差のOB会となりました。櫻井氏は御年81歳、趣味のゴルフで悠々自適の生活です。関口弘之氏（S39獣医）は現役の開業獣医師で県内小動物臨床の大御所として津地区獣医師会会長の要職にあります。不肖私も現役の開業獣医師で、去年の近畿地区連合獣医師大会において図ら



ずも日本獣医師会長感謝状を受賞。また副支部長（会計）の永田克行氏（S55獣医）は県を退職後、今年から動物愛護管理センター理事長に就任、今年と同大会において近畿地区連合獣医師会長表彰状を受賞しました。

諸先輩をはじめ私も年を取り、年々1人減り2人減りと病気やご逝去により参加者が減りつつある中、開催できるうちは毎年開催し、参加する人だけでもお互いに元気な顔を合わせて懇談する機会を今後も持ち続けたいと思います。

## 平成26年度釧路支部 研修会を開催して

釧路支部長

伊 織 正 一  
(昭和32年獣医)



当支部定期総会は規約で隔年としており今年には開催しない年度になっていたが、年々出席者が少なくなってきたことから、今年には会員の興味・関心を引くような題材で、母校より講師を招き、研修会と懇親会を去る9月27日温泉宿鶴居村ホテルグリーンパークで由佐同窓会会長のご臨席をいただき開催した。

演題・講師選定に苦勞している折、道新で瀬尾哲也先生の「家畜福祉の視点」の掲載があり「感受性を持つ家畜を、誕生から屠殺まで快適性に配慮した飼育方法を目指そうとする考え方、続いて家畜福祉の研究会設立・実践活動など」の記事を読み、是非講演をいただきたく先生には超過密の日程の中実現できた。

講演の内容から一般の方にも参加を呼びかけた企画は良かったが、会員も含めて参加者の呼び込みで苦勞した。

先生から家畜福祉（アニマルウェルフェア）の理論、先進地の状況、国内の取り組み、飼育管理の基準と認証制度など、また今度の課題や先生自ら作成した基準をクリアした製品の紹介もあった。

先生の講演を拝聴して、厳しい生産を強いられている畜産生産者にとっては、先生が提唱する家畜福祉を



意図した自然体で快適な環境の下で愛情を持って飼育する現場を消費者・購買者に見せ、生産物の味を知ってもらい、顔と心の通った方途で販路促進を狙い、さらには6次産業化も視野に入れた生き残りを賭ける生産者・グループが増えるのではないかと考えている。

久方ぶりの温泉宿での懇親会は由佐会長と瀬尾先生を囲み、若い会員の盛り上げもあって、所期の目的は達成できた。

## 大阪支部の近況

大阪支部事務局

藤 崎 泰 造  
(平成元年畜産環境)

三つ子の魂百までと言いますが、まさに碧雲寮生の大酒のみも百まで！そんな当たり前を再認識させられた昨年の同窓会忘年会でした。2013年11月16日JR大阪環状線天満駅近くの人気中華料理店“双龍虚”にて開催された総会を兼ねた忘年会。フカヒレやら北京ダックやら5,000円飲み食べ放題とは思えない料理の数々に大興奮！で、社会人のたがが外れて…。あまりの大食漢ぶりに悲鳴を上げる店長をよそに次々とオーダーされる紹興酒に料理の数々！あっぱれ！さすが碧雲寮の先輩方！今年も思う存分やって下さい！店長怒ってません大丈夫！昨年より飲み放題料金500円アップの大人の契約更改をしてきましたから…。

### 【お知らせ】

大阪支部総会&忘年会 11月22日(土) 18時～20時半 JR天満駅徒歩2分“双龍虚”ご連絡はメールで、taizou.fujisaki@gmail.com facebookに同窓会大阪支部ページあります。昨年の総会および夏のBBQの様態など掲載しています、同窓生の皆さんで、大阪の百貨店などで催事出店される際などはご案内ください。口コミ拡散応援いたします。

(会報がおくれました。すいません：事務局)

## 新潟県支部の近況

新潟支部事務局長

石 田 秀 史  
(昭和53年獣医)

帯広畜産大学同窓会新潟県支部では、去る9月27日(土)新潟駅前、新潟東急インにおきまして2年ぶりに同窓会を開催しました。報告者が長澤学長、辻事務局長と同期卒業、学長の教え子が出席すること、楠原支部長(昭和38年獣医)が学長と同じラグビー部のOBであることもあって、学長のご臨席をいただいたとこ

## 千葉県庁帯広畜産大学同窓会より

印旛農業事務所

工藤 隆 憲

(平成元年工学)

ろです。多くの参加者を見込んでいたところでしたが、多忙な時期と重なったせいか、欠席者が相次ぎ学長、事務局長を加えて15名の少人数での開催となりました。ただ、女性会員が2名参加され、花を添えていただきました。

会は楠原支部長の挨拶に始まり、学長から挨拶を兼ねて「最近の大学の状況」をお話ししていただき、事務局長からは特に大学が取り組んでいるプロジェクトなどについて説明をいただきました。報告者が会務（といってもほとんど活動がない）を報告し、佐藤将典副支部長（昭和48年獣医）の乾杯の音頭で懇親会となりました。適度にアルコールが体に染みわたったところで、会員の自己紹介と近況報告をしていただきました。近況報告ということでしたが、大学を卒業して以降の人生をすべて話される会員もいて、時間が足りなくなるのではと心配する場面もありました。近況報告の中でも、警察官になられた水落会員（平成13年管理）は仕事柄大学で学んだ専門知識を生かす場面がほとんどない中で、自己アピールする機会に羊の種付けを同僚を羊に見立てて実演したところ、大喝采を受け、これまでで一番役に立った知識であったと紹介されました。もちろん近況報告中で最も受けた話題でもありました。終始和やかな雰囲気の中で会は進み、最後はやはり逍遙歌を、今回ヒーローの水落会員の前口上で歌って終了となりました。少人数とはいえ、学生に戻ったかのように大きな声で歌ったので、係の人が「隣で研修会をしているので、少し小さい声でお願いします。」と慌てた様子で入ってきましたが、すぐに終わりますからと、ボリュームを下げることなく最後まで歌いました。

学長、事務局長には、翌日も予定があるとのことでしたが、おいしい新潟の酒を楽しんでいただきたく、3次会までおつきあい願いました。大変お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



千葉県庁では年に1回、同窓会（送る会）を開いています。先日（H26.3.12）、稲毛先輩（S54獣医）の送る会を開きました。これまで“県庁帯広畜産大学同窓会”として、“帯広畜産大学同窓会会報”に投稿したことがなかったこともあり、ここに紹介します。（敬称略、“年卒”は卒業年です。）

県庁帯広畜産大学同窓会は現役の県職員及び県職員OBで構成され、その人数は約40人であり、昨年よりOBの人数が過半数を占めてきました。

また、卒業生の学科は獣医学科が半数を占め、他は畜産環境や農業工学、草地、酪農となっており、千葉県の農畜産業を支える柱の一つと自負しています。

さて、今回の同窓会は西阪（H13獣医）の司会進行で、桐岡（S39獣医）の挨拶に始まり、来賓紹介を宮木（S54環境）、稲毛氏への記念品贈呈を笠井（H7獣医）が務め、田中（昌史）（S55環境）が乾杯を発声し、その後歓談となりました。歓談時では昔の上司と部下の関係等、久しぶりの再会に話が弾みました。

時間となり、昨年の卒業生の梶川（S52獣医）が閉会の挨拶後、逍遙歌を全員で肩を組み、倉西（S57環境）の前口上の後、歌いました。

なお、この投稿を見て、同窓会の存在を知られたら、東総食肉衛生検査所あるいは印旛農業事務所にお報せいただけたらと存じます。

県庁帯広畜産大学同窓会では、これからもその時々集まれる同窓が職域、年代を越えて集い親睦を深めていきたいと思っております。



## 九州・沖縄支部の近況

九州・沖縄支部事務局長  
高木 信 紘  
(昭和42年獣医)

九州・沖縄支部は、1968年福岡市において11名の会員にて誕生しました。以来1982年と1998年の2回を除き、毎年九州・沖縄各地での支部同窓会を開催してきました。

そして本年(2013年)は、45年の節目の年であり、長澤秀行学長、由佐壽朗同窓会会長に、遠路遙々ご出席を賜り、下記の要領で支部同窓会を開催しました。

◆2013年11月16日 福岡市ホテルコムズ福岡

◆出席者 24名

総会は、ご来賓の方々からの身に余るお言葉を頂く等、スムーズに進み、続く懇親会では、ホテルの広間に畳をひき、丸テーブルを囲むと言う、少々変わった形式ではありましたが、懐かしい面々との楽しいひと時を過ごす事ができました。さらに二次会は、ホテル近くのカラオケへと繰り出し、夜は更けて行ったのでした。



## 品川森一名誉教授瑞宝中綬章を受賞

平成26年秋の叙勲の受章者として、本学名誉教授品川森一氏が瑞宝中綬章を受賞されました。

品川先生は、教育研究功労者として永年に亘る獣医公衆衛生分野の動物プリオン病研究、特に牛海綿状脳症(BSE)の専門家として活躍されるとともに、独立行政法人農業技術研究機構動物衛生研究所プリオン病研究センター長、厚生労働省牛海綿状脳症の検査に係る専門家会議座長などの要職を歴任されました。

この度の受章は、これらの功績に対し受賞されたものです。

伝達式は、11月10日(月)国立劇場大劇場にて、拝謁が同日、皇居にて執り行われました。

栄えある叙勲を受けられましたことをお祝い申し上げます。(畜大HPより)



## 長澤学長が「JICA理事長表彰」を受賞

平成26年10月21日(火)、長澤秀行学長は、開発途上国の農学関連人材の育成、国際協力機構(JICA)との緊密な連携体制の構築、我が国の国際協力人材の育成に貢献したことが評価され、「JICA理事長表彰」を受賞しました。

この表彰は、JICAが行う国際協力事業に貢献・協力し、途上国の人材育成や社会発展に尽力した事業・個人・団体の功績をたたえるもので、今年度は第10回目の表彰となります。

表彰式はJICA市ヶ谷ビル国際会議場において举行され、田中明彦JICA理事長より感謝状が授与されました。なお、受賞理由の概要は以下のとおりです。

- ・帯広畜産大学の教授就任以降、研究者として途上国の人材育成を担い、「モンゴル家畜感染症診断技術開発計画」に専門家として参加したほか、各種本邦研修事業、海外技術協力事業の計画、実施に尽力したこと。
- ・「大学が担う農学分野は地球規模課題の解決に貢献すべきで、JICAとの緊密な連携により途上国の発展と日本の国際協力人材育成に尽力しなければならない」との信念に基づき、大学の先頭に立って国際協力事業を推進したこと。
- ・「フィリピン/酪農開発強化プロジェクト」、「パラグアイ/帯広-JICA協力隊連携事業」において、数多くの学生を青年海外協力隊員として現地に派遣するなど、我が国の国際協力人材の育成に尽力したこと。



受賞挨拶を行う長澤学長



JICA田中理事長より感謝状を授与される長澤学長  
(畜大HPより)

## 畜大パンの販売開始

食品科学研究部門 教授  
山内 宏 昭

「畜大パン」は、畜大発のオリジナル商品「畜大牛乳」、  
「畜大牛乳アイスクリーム」に続く第3弾で本年9月  
16日から販売を開始しました。「畜大パン」は、敷島  
製パン(株)と畜大との包括連携協定に基づく、産学の共  
同研究の成果の技術(特許製法)を用いて開発された  
商品で、地元のオープンフレッシュベーカリーの石窯  
パン工房「ボンパン」さんに委託で生産して頂いてお  
ります。具体的には、新湯種製法という製法(お湯を  
使って、小麦粉をゲル状にした生地を添加する製法)  
で作られています。この製法で作られたパンの特徴は、  
日本人好みの「食感がもちもちで、ほのかな甘みがあ  
り、パンがソフトで硬くなりづらい特性」があります。  
判り易く言いますと敷島製パン(株)の食パン「超熟」、  
山崎製パン(株)の食パン「超芳醇」、「芳醇」の製パン法  
を改良した製法で作られています。



畜大食パン



十勝あずきぱん



北海道かぼちゃあんぱん

### 畜大パンの例 (道産小麦使用)



チョコチップスティック

地域の大学の畜大で開発したパンですので、原料に  
もこだわっており、小麦粉は道産の超強力粉「ゆめち  
から粉」と中力粉「きたほなみ粉」のブレンド粉を使  
用して製造されています。パンの種類は、「畜大食パン」、  
「北海道かぼちゃあんぱん」、「十勝あずきぱん」、「チ  
ョコチップスティック」の4種で、かぼちゃ、小豆等小  
麦粉以外の材料もできる限り道産の原材料を使用して  
います。今後は、季節により旬の食材を生かした商品  
を開発し、アイテムをリニューアルすると共に、畜大  
カフェ用のパンの開発にもチャレンジできればと関係  
者と協議しております。

「畜大パン」は、毎週火曜、金曜の12時より畜大生  
協で販売されており、焼きたてのパンを「ボンパン」  
さんの林社長様に毎回届けて頂いております。非常に  
しっかりとおいしい畜大オリジナルなパンですので、  
是非一度ご賞味頂ければ幸いです。

なお、以下に畜大パンの開発に大きく貢献した石窯  
パン工房「ボンパン」さんの林淑雅社長様と敷島製パ  
ン(株)の畜大社会人留学生の山田大樹さんの写真を掲載  
します。お二人の努力で「畜大パン」は開発、商品化  
されたと言っていいでしょう。



石窯パン工房  
ボンパンさん  
林淑雅社長



帯広畜産大学  
食品科学専攻大学院生  
(敷島製パンからの社会人入学生)  
山田大樹さん

## 畜大牛乳と畜大牛乳アイス

畜産フィールド科学センター長 教授 日 高 智

皆様ご存じの「畜大牛乳」は、1962年4月当時の酪農学科乳製品研究  
室でノンホモ牛乳を製造開始してから今年で52年目となります。現在は、  
畜産フィールド科学センター(旧畜大農場)で、100%自給の粗飼料で  
飼育された乳牛から、センター敷地内にある「乳製品工場」にて、  
FSSC22000に従った製造工程と管理・検査体制で作られています。

また、これまで試作されていた「畜大牛乳アイス」も2013年12月より、  
一般販売が開始されました。帯広市民の方にも好評を得ているところ  
です。畜大生協で贈答用も扱っていますので、味わってみたい方は、下記  
の畜大生協ホームページもしくは電話・FAXをご参照ください。

畜大生協 TEL:(0155)48-2284 FAX:(0155)48-2733  
<http://www.hokkaido.seikyoku.ne.jp/obichiku/>

国立大学法人帯広畜産大学

畜大牛乳から生まれた畜大牛乳アイス

帯広畜産大学  
食品科学専攻  
畜大牛乳  
アイスクリーム

畜大で大切に育てられた  
牛の生乳を搾り、  
大学内の工場で製造されている畜大牛乳。  
その牛乳をたっぷり使った、  
ミルクの味わい豊かな  
アイスクリームです。

帯広畜産大学畜産フィールド科学センター  
〒089-8555 帯広市南田町2丁目11番地 tel 0155-49-5656 fax 0155-49-5654  
URL: <http://www.dobro.ac.jp/~focsa/index.html> E-mail: [Feed@dobro.ac.jp](mailto:Feed@dobro.ac.jp)



# 事務局だより

## 逍遙舎の使用について

「逍遙舎」は、同窓会員、職員、学生が相互の懇親などの交流の場として使用できます。利用を希望される方は、大学総務課にお申し込みください。

問合せ先 総務課総務係 49-5216  
(平日8:30-17:15)

HP <http://www.obihiro.ac.jp/alumnus/syouyousya.html>

## 同窓会事務について

同窓会事務局は、事務職員の配置を取りやめ、その作業を帯広畜産大学生協に委託しました。なお、電話、FAX等は、これまでと同様ですので、お問い合わせは、下記にお願いします。

同窓会事務局 (平日8:30-18:00)

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地  
帯広畜産大学内

電話0155-49-5996 FAX0155-49-5996

E-mail [dousou@obihiro.ac.jp](mailto:dousou@obihiro.ac.jp)

HP <http://www.obihiro.ac.jp/~dousou/>

## 本学同窓会の終身会費の徴収方法について

現役学生の保護者の皆様へ

これまで帯広畜産大学同窓会では、会費の徴収方法として、入学時に入学者の皆様から同窓会への協賛金としていただき、卒業の時点で同窓会会員となった時にその会費を終身会費に変更させていただいておりました。しかし、その煩雑性と他の大学の状況を見たとき、現役学生も入学した時点において準会員の資格を与え、その結果として、入学時に終身会費をいただくことといたしました。なお、特別な事情で、途中で大学を去る場合においては、本人からの申し出において、終身会費を返納することは、従来と変わっておりません。また、本年度からは、入学時に同窓会に住所開示の許可をいただいた保護者の皆様には、同窓会報の発送も行い、本学同窓会の活動をご覧になっていただくことにいたしました。このような事情で、本年度より、現役学生の保護者様にも同窓会会報を発送いたしましたので、お気づきの点がありましたら、事務局までご一報ください。

また、本学の卒業生は、全国に散らばっており、現役の学生諸子の就職時にも、色々な分野の諸先輩の方々

のお力も拝借できる体制となっています。その旨、ご子弟にお知らせいただき、同窓会事務局の先生方に連絡いただければ、全国の各支部に問合せを行うことも可能ですので、そのような観点からも同窓会を活用していただければ幸いです。

## 平成24年度 事業報告

- |             |  |
|-------------|--|
| 平成24年10月13日 | 平成24年度 第1回役員会・第1回代議員会開催  |
| 10月13日      | 釧路支部総会出席 (由佐会長・学長)   |
| 10月18日      | 協賛金納入願い発送<br>第3年次編入学畜産科学課程合格者、学士編入学2年次共同獣医学課程合格者                                   |
| 11月中旬       | 同窓会報の発行  |
| 11月17日      | 鳥取支部総会出席 (辻事務局長・学長)  |
| 12月7日       | 第2回役員会開催   |
| 12月8日       | 大阪・兵庫支部合同総会出席 (砂川副会長・学長)   |
| 12月13日      | 協賛金納入願い発送<br>推薦入学合格者、別科推薦入学合格者   |
| 平成25年1~2月   | 石川支部総会出席   |
| 1月17日       | 協賛金納入願い発送<br>大学院修士課程・博士前期課程第2次募集一般選抜合格者、社会人特別選抜合格者                                 |
| 2月初旬        | 卒業および修了予定者に終身会費納入願いを配布   |
| 2月初旬        | 2年次編入学・3年次編入学合格協賛金納入者へ記念品贈呈  |
| 2月14日       | 協賛金納入願い発送<br>大学院博士後期課程第2次募集一般選抜合格者、社会人特別選抜合格者、外国人特別選抜合格者、大学院修士課程・博士前期課程国際協力特別選抜合格者 |
| 3月6日        | 協賛金納入願い発送<br>私費外国人留学生特別入試合格者、一般入試前期日程合格者、別科一般入試合格者                                 |
| 3月中旬        | 卒業式会長祝辞  |
| 3月21日       | 協賛金納入願い発送<br>一般入試後期日程合格者   |
| 5月中旬        | 協賛金納入者へ記念品贈呈   |
| 9月上旬        | 同窓会報の発行  |
| 9月3日        | 協賛金納入願い発送  |

大学院修士課程・博士前期課程一般選抜合格者、大学院修士課程・博士前期課程(平成25年10月入学)、一般選抜合格者社会人特別選抜合格者外国人特別選抜合格者、大学院博士後期課程(平成25年10月入学)一般選抜合格者、外国人特別選抜合格者

## 平成25年度 事業報告

平成25年10月5日 同窓会総会開催  
 10月17日 第3年次編入畜産科学課程合格者、学士編入学2年次獣医学課程合格者(1名)へ同窓会費納入願いを発送  
 10月25日 宮城支部同窓会(辻事務局長)  
 10月26日 釧路支部同窓会(由佐会長)  
 11月9日 中国地区合同同窓会(岡山)(長澤学長、辻事務局長)  
 11月9日 札幌支部(小田理事、由佐会長)  
 11月30日 第1回同窓会役員会  
 12月13日 推薦入学合格者、別科推薦入学合格者、帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送  
 平成26年1月16日 大学院修士課程第2次募集一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定  
 2月18日 大学院博士後期課程一般選抜合格者、大学院修士課程・博士前期課程国際協力特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送  
 2月22日 香川県支部同窓会(砂川副会長、辻事務局長)  
 3月6日 私費外国人留学生特別選抜合格者、一般選抜前期日程合格者、別科一般選抜合格者、別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送  
 3月20日 卒業式会長祝辞  
 3月20日 卒業および修了予定者に同窓会費納入願いを配布  
 3月20日 一般選抜後期日程合格者、大学院博士後期課程一般選抜合格者、外国人留学生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送  
 6月21日 関東同窓会(長澤学長、由佐会長、多田副学長、岸本名簿役員)  
 7月12日 士幌支部野遊会・逍遙舎(長澤学長、由佐会長)  
 8月9日 同窓会焼肉パーティー・逍遙舎(26名参加)  
 9月3日 大学院修士課程一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜合格者、大学院修士課程(平成22年10月入学)、一般選抜、社会人特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送  
 9月27日 新潟支部同窓会(長澤学長、辻事務局長)

## 平成25年度 事業計画

平成25年10月5日 同窓会総会開催  
 10月中旬 第3年次編入畜産科学課程合格者、学士編入学2年次獣医学課程合格者同窓会費納入願いを発送  
 11月中旬 同窓会名簿発行予定  
 12月初旬 第1回役員会開催予定  
 12月中旬 推薦入学合格者、別科推薦入学合格者、帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定  
 平成26年2月初旬 大学院修士課程第2次募集一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定  
 2月初旬 卒業および修了予定者に同窓会費納入願いを配布予定  
 2月初旬 2年次編入学・3年次編入学合格者へ同窓会費納入者へ記念品贈呈予定  
 2月中旬 大学院博士後期課程一般選抜合格者、大学院修士課程・博士前期課程国際協力特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定  
 3月初旬 私費外国人留学生特別選抜合格者、一般選抜前期日程合格者、別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定  
 3月中旬 卒業式会長祝辞  
 3月下旬 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送  
 5月中旬 同窓会費納入者へ記念品贈呈予定  
 9月上旬 同窓会報の発行予定  
 9月上旬 大学院修士課程一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者、大学院修士課程(平成22年10月入学)一般選抜・社会人特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定  
 10月初旬 同窓会役員会・代議員会開催予定

釧路支部同窓会（由佐会長、瀬尾先生）

## 平成26年度 事業計画

平成26年10月16日 第3年次編入畜産科学課程合格者、学士編入学2年次獣医学課程合格者へ同窓会費納入願いを発送  
 10月18日 平成26年度帯広畜産大学第1回同窓会役員会・代議員会開催  
 10月26日 三重県同窓会（砂川副会長出席予定）  
 10月31日 宮城県同窓会（長澤学長出席予定）  
 11月8日 福島県同窓会（派遣役員未定）  
 12月6日 第2回役員会開催予定  
 12月中旬 推薦入学合格者、別科推薦入学合格者、帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定  
 平成27年2月初旬 大学院修士課程第2次募集一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定  
 2月中旬 大学院博士後期課程一般選抜合格者、大学院修士課程・博士前期課

程国際協力特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定  
 3月初旬 私費外国人留学生特別選抜合格者、一般選抜前期日程合格者、別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定  
 3月中旬 卒業および修了予定者に同窓会費納入願いを配布予定  
 3月20日 卒業式会長祝辞予定  
 3月下旬 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送予定  
 5月中旬 同窓会費納入者へ記念品贈呈予定  
 8月8日（土曜日）第3回役員会・第2回代議員会開催予定（午前中）  
 焼肉パーティーの開催（午後）  
 9月上旬 同窓会報の発行予定  
 9月上旬 大学院修士課程一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者、大学院修士課程（平成22年10月入学）一般選抜・社会人特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定  
 10月初旬 同窓会総会 開催予定

## 訃 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。〔敬称略〕

浅谷 矩之（S18年高等獣医）	吉川 睦夫（S25年農専・農学）	岡部 武（S30年酪農）
野呂 和博（S18年高等獣医）	斉藤 敢（S29年獣医）	富澤 政（S30年酪農）
上田 倫雄（S18年高等獣医）	岸田 進（S30年獣医）	安長 正弘（S31年酪農）
齋藤 馨之助（S18年高等獣医）	田中正三（S31年獣医）	横田 吉弘（S32年酪農）
高本 延吉（S20年獣医畜産）	春井 幸治（S35年獣医）	淵沢 克己（S39年酪農）
三浦 重明（S20年獣医畜産）	高山 衛（S36年獣医）	大辻 修（S58年家畜生産）
大竹 重満（S22年農専・獣医）	俵 孝（S37年獣医）	井上 清（S30年総合農学）
山口 彰一（S22年農専・獣医）	飯田 久子（S44年獣医）	横堀 正（S31年総合農学）
遠藤 勝美（S22年農専・獣医）	吉本 泰典（S44年獣医）	牧田 正利（S31年総合農学）
山内 敏靖（S22年農専・獣医）	多田 和嘉（S47年獣医）	大野 宏（S32年総合農学）
福原 進（S23年農専・獣医）	遠藤 実（S50年獣医）	谷村 吉光（S38年総合農学）
土田 宏明（S23年農専・獣医）	原田 勇（S28年酪農）	渡辺 博（S47年農産化学）
塩田 昌三（S24年農専・獣医）	橋本 健（S29年酪農）	榊原 透（S57年農産化学）
千葉 一夫（S24年農専・獣医）	時田 茂光（S30年酪農）	新堂 健（S62年農産化学）
鈴木 勤（S25年農専・酪農）	秋山 厚三（S30年酪農）	白木 昭夫（S42年農業工学）
船戸 尚志（S25年農専・酪農）	上田 恵造（S30年酪農）	坂井 治人（S50年農業工学）
島 滋夫（S25年農専・農芸）	大平 一男（S30年酪農）	井阪 保子（H11年畜産管理）
盛 時雄（S26年農専・農芸）	砂田 昌夫（S30年酪農）	

\*2013年8月から2014年10月までに、本部事務局にご連絡をいただきました。

# 帯広畜産大学同窓会平成24年度通常会計決算報告

(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

収入金額 8,651,508 円  
 支出金額 4,991,819 円  
 次年度繰越金額 3,659,689 円

収入の部 単位：円

項目	H24年度予算	H24年度決算	増減	備考
前年度繰越金	3,913,866	3,913,866	0	前年度繰越金
名簿販売	900,000	393,000	△ 507,000	名簿：3,000×131冊
終身会費	4,000,000	4,280,000	△ 280,000	20,000×214(終身会費)
雑収入	9,134	64,642	55,508	利息、寄付、アルミボトル売上
合計	8,823,000	8,651,508	△ 171,492	

支出の部 単位：円

項目	H24年度予算	H24年度決算	増減	備考
印刷代	1,000,000	1,815,386	815,386	会報19号20号、その他
通信、郵送料	1,000,000	1,718,013	718,013	通信・郵送料、料金受取払い、会報発送料
人件費	500,000	614,886	114,886	給与、施設管理費、アルバイト
事務費	100,000	8,739	△ 91,261	事務用品
会議費	100,000	41,700	△ 58,300	役員会ほか
交通費	100,000	365,000	265,000	役員旅費
役員手当	190,000	0	△ 190,000	手当の基準変更のため
記念品代	0	0	0	H23年度に5年分購入
雑費	300,000	428,095	128,095	Webカメラ、終身会費二重払い返金、振込手数料他
予備費	5,533,000	0	△ 5,533,000	
合計	8,823,000	4,991,819	△ 3,831,181	

平成24年度監査報告(平成24年10月1日～平成25年9月30日)  
 帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成25年10月4日

監事 中家 敏博 印  
 石塚 結達 印

# 帯広畜産大学同窓会平成24年度周年事業特別会計決算報告

(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

収入金額 14,600,751 円  
 支出金額 1,207,730 円  
 次年度繰越金額 13,393,021 円

収入の部 単位：円

項目	H24年度予算	H24年度決算	増減	備考
前年度繰越金	14,495,486	14,495,486	0	
通常会計から	0	0	0	
懇親会費	0	104,000	104,000	
雑収入	4,514	1,265	△ 3,249	定期利息：1,265
合計	14,500,000	14,600,751	100,751	

支出の部 単位：円

項目	H24年度予算	H24年度決算	増減	備考
周年事業活動費	1,000,000	1,207,730	207,730	
周年事業基金	13,500,000	0	△ 13,500,000	
合計	14,500,000	1,207,730	△ 13,292,270	

平成24年度監査報告(平成24年10月1日～平成25年9月30日)  
 帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成25年10月4日

監事 中家 敏博 印  
 石塚 結達 印

## 帯広畜産大学同窓会平成25年度通常会計予算

(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

収入の部				単位：円
項 目	H25年度予算	H24年度決算	増 減	備 考
前年度繰越金	3,659,689	3,913,866	△ 254,177	
名簿販売	150,000	393,000	△ 243,000	名簿:3,000×50冊
終身会費	4,000,000	4,280,000	△ 280,000	20,000×200人
雑収入	42,311	64,642	△ 22,331	利息、寄付金、アルミボトル売上
合 計	7,852,000	8,651,508	△ 799,508	

支出の部				単位：円
項 目	H25年度予算	H24年度決算	増 減	備 考
印刷代	1,000,000	1,815,386	△ 815,386	会報他
通信、郵送料	1,000,000	1,718,013	△ 718,013	通信・郵送料、料金受取払い
人件費	650,000	614,886	35,114	同窓会館（遺囑舎）管理費、アルバイト
事務費	50,000	8,739	41,261	事務用品
会議費	100,000	41,700	58,300	役員会ほか
交通費	600,000	365,000	235,000	旅費
役員手当	200,000	0	200,000	支給基準の変更（日当化）
記念品代	0	0	0	H23年度に5年分購入
雑費	450,000	428,095	21,905	慶弔費、終身会費二重払い返金、振込手数料他
予備費	3,802,000	0	3,802,000	
合 計	7,852,000	4,991,819	2,860,181	

## 帯広畜産大学同窓会平成25年度周年事業特別会計予算

(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

収入の部				単位：円
項 目	H25年度予算	H24年度決算	増 減	備 考
前年度繰越金	13,393,021	14,495,486	△ 1,102,465	
懇親会費	120,000	104,000	16,000	
雑収入	1,979	1,265	714	利息ほか
合 計	13,515,000	14,600,751	△ 1,085,751	

支出の部				単位：円
項 目	H25年度予算	H24年度決算	増 減	備 考
周年事業活動費	1,300,000	1,207,730	92,270	
周年事業基金	12,215,000	0	12,215,000	
合 計	13,515,000	1,207,730	12,307,270	

# 帯広畜産大学同窓会平成25年度通常会計決算報告

(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

収入の部 単位：円

項目	H25年度予算	H25年度決算	増減	備考
前年度繰越金	3,659,689	3,659,689	0	前年度繰越金
名簿販売	150,000	24,000	△ 126,000	名簿:3,000×8冊
終身会費	4,000,000	3,822,000	△ 178,000	20,000×191(終身会費)+誤撥込2000
雑収入	42,311	55,198	12,887	利息(郵貯、JA、信金)、寄付金
合計	7,852,000	7,560,887	△ 291,113	

支出の部 単位：円


項目	H25年度予算	H25年度決算	増減	備考
印刷代	1,000,000	0	△ 1,000,000	
通信、郵送料	1,000,000	56,141	△ 943,859	通信・郵送料、料金受取払い
人件費	650,000	607,964	△ 42,036	謝金、施設管理費、アルバイト
事務費	50,000	15,971	△ 34,029	事務用品
会議費	100,000	15,000	△ 85,000	役員会、代議員会経費
交通費	600,000	413,000	△ 187,000	役員旅費
役員手当	200,000	45,000	△ 155,000	役員日当
記念品代	0	44,940	44,940	感謝状挿
雑費	450,000	130,545	△ 319,455	郵便振替料金、終身会費二重払い返金、慶弔費他
予備費	3,802,000	0	△ 3,802,000	
合計	7,852,000	1,328,561	△ 6,523,439	

収入金額 7,560,887 円 ①  
 支出金額 1,328,561 円 ②  
 次年度繰越金額 6,232,326 円 ①-②

平成25年度監査報告(平成25年10月1日～平成26年9月30日)  
 帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成26年10月17日

監事

石塚 結 達 

中家 敏 博 

# 帯広畜産大学同窓会平成25年度周年事業特別会計決算報告

(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

収入の部 単位：円

項目	H25年度予算	H25年度決算	増減	備考
前年度繰越金	13,393,021	13,393,021	0	
懇親会費	120,000	48,000	△ 72,000	
雑収入	1,979	1,266	△ 713	定期預金利息
合計	13,515,000	13,442,287	△ 72,713	

支出の部 単位：円


項目	H25年度予算	H25年度決算	増減	備考
周年事業活動費	1,300,000	861,080	△ 438,920	懇親会費、各支部総会への役員派遣
周年事業基金	12,215,000	0	△ 12,215,000	
合計	13,515,000	861,080	12,307,270	

収入金額 13,442,287 円 ③  
 支出金額 861,080 円 ④  
 次年度繰越金額 12,581,207 円 ③-④

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成26年10月17日

監事

石塚 結 達 

中家 敏 博 

## 帯広畜産大学同窓会平成26年度通常会計予算

(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

収入の部				単位：円
項 目	H26年度予算	H25年度決算	増 減	備 考
前年度繰越金	6,232,326	3,659,689	2,572,637	
名簿販売	0	24,000	△ 24,000	名簿販売終了
終身会費	4,000,000	3,822,000	178,000	20,000×200人
雑収入	7,674	55,198	△ 47,524	利息、寄付金
合 計	10,240,000	7,560,887	2,679,113	

支出の部				単位：円
項 目	H26年度予算	H25年度決算	増 減	備 考
印刷代	2,000,000	0	2,000,000	会報(21号,22号)他
通信、郵送料	2,000,000	56,141	1,943,859	通信・郵送料、料金受取払い
人件費	650,000	607,964	42,036	遺囑舎管理費、アルバイト
事務費	30,000	15,971	14,029	事務用品
会議費	50,000	15,000	35,000	役員会ほか
交通費	600,000	413,000	187,000	旅費
役員手当	200,000	45,000	155,000	役員・代議員日当
記念品代	100,000	44,940	55,060	感謝状桶など
雑費	200,000	130,545	69,455	慶弔費、終身会費二重払い返金、振込手数料他
周年事業費積立金	1,000,000	0	1,000,000	周年事業特別会計へ(80周年に向けて)
予備費	3,410,000	0	3,410,000	
合 計	10,240,000	1,328,561	8,911,439	

## 帯広畜産大学同窓会平成26年度周年事業特別会計予算

(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

収入の部				単位：円
項 目	H26年度予算	H25年度決算	増 減	備 考
前年度繰越金	12,581,207	13,393,021	△ 811,814	
懇親会費	120,000	48,000	72,000	
周年事業積立金	1,000,000	0	1,000,000	通常会計より
雑収入	1,793	1,266	527	利息ほか
合 計	13,703,000	13,442,287	260,713	

支出の部				単位：円
項 目	H26年度予算	H25年度決算	増 減	備 考
周年事業活動費	1,300,000	861,080	438,920	懇親会支払、各支部総会への役員派遣など
周年事業基金	12,403,000	0	12,403,000	80周年記念事業に向けて
合 計	13,703,000	861,080	12,841,920	

# 帯広畜産大学同窓会会則

昭和36年7月7日制定  
平成5年10月16日改訂  
平成7年10月14日改訂  
平成9年10月18日改訂  
平成11年10月23日改訂  
平成13年10月6日改訂  
平成19年10月13日改訂  
平成25年10月5日改訂

## 第1章 総 則

- 第1条 本会は帯広畜産大学同窓会と称する。
- 第2条 本会は会員相互の連絡と親睦、並びに帯広畜産大学の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 同窓会報の発行
  2. 同窓会名簿の管理
  3. 帯広畜産大学の後援
  4. その他本会の目的を達成するための必要な事業
- 第4条 本会の事務局は帯広畜産大学内に置く。

## 第2章 会 員

- 第5条 本会は次の会員を持って組織する。
1. 正会員
    - 1) 帯広畜産大学及びその前身の卒業生
    - 2) 帯広畜産大学畜産学専攻科、大学院畜産学研究科、及び別科修了生
    - 3) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科及び岩手大学大学院連合農学研究科の修了生で本学の講座に所属したもの
    - 4) その他代議員会で認めたもの
  2. 準会員  
帯広畜産大学、大学院畜産学研究科、草地専修科、岐阜大学大学院連合獣医学研究科および岩手大学大学院連合農学研究科の学生
  3. 特別会員  
帯広畜産大学およびその前身の同窓生以外の教員
- 第6条 会員は住所、その他の異動があった場合は、その都度本会に速やかに通知しなければならない。
- 第7条 会員の除名および資格の喪失
1. 本会の名誉を傷つけたり、本会の目的に反した行為を行った会員は、代議員会の決議により、除名とする。
  2. 当該会員が死亡したときは、その資格を喪失する。

## 第3章 役 員

- 第8条 本会は帯広畜産大学長を名誉会長に推薦する。
- 第9条 本会は次の役員を置く。会長1名、副会長若干名、事務局長1名、庶務担当3名、会計担当3名、名簿担当3名および監事2名。ただし、会長が必要と認めた場合は役員を追加することができる。役員会は前記の役員で構成し、本会の日常的な運営にあたる。本会は役員会の推薦により顧問を置くことができる。
- 第10条 会長及び副会長は代議員会において会員中より選出し、総会の承認を受けるものとする。その他の役員は役員会において会員中より選出し、代議員会の承認を受けるものとする。役員および代議員の任期は一期二年とし、再選を妨げないが、会長の任期は二期を越えないこととする。
- 第11条 会長は本会を代表し、会務を統理する。副会長は会長を

補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。

- 第12条 事務局長は庶務担当役員と共に会務を担当する。
- 第13条 会計担当役員は会費を徴収し、本会の資産の管理と予算の適切な執行を担当する。
- 第14条 名簿担当役員は同窓会名簿の管理を担当する。本役員は名簿の編集の円滑化を計るため、名簿編集委員を委嘱することができる。
- 第15条 監事は本会業務の執行及び会計の状況を監査する。
- 第16条 役員会は会長が召集しその議長となる。本会は構成役員の過半数の出席で成立し、会の議事は出席者の過半数をもってこれを決する。
- 第17条 役員会は支部等から若干名の代議員を委嘱し、重要な会務を審議するために役員と代議員とで構成する代議員会を置く。
- 第18条 代議員会は会長が召集しその議長となる。代議員の3分の2以上の署名により会議の目的事項を示して請求があったときは、会長は代議員会を招集しなければならない。代議員会は構成員の過半数（委任状を含む）で成立し、議事は過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第19条 代議員会は次の事項を審議する。
1. 予算及び決算
  2. 会費の変更
  3. 重要な資産の処分
  4. その他の重要な事項

## 第4章 総 会

- 第20条 総会は通常総会と臨時総会とする。通常総会は原則として隔年で開催するものとする。臨時総会は代議員会において必要と認めるとき、または10分の1以上の会員の署名により会議の目的事項を示して請求があったときこれを開くこととする。
- 第21条 総会は会長が招集し、その議長は会員中より総会で選出する。
- 第22条 次の事項は通常総会においてその承認を受けるものとする。
1. 会則の変更
  2. 役員人事
  3. 資産目録
- 第23条 総会の議事は出席会員の過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第24条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってこれに充当する。

## 第5章 資産及び会計

- 第25条 本会の重要な資産を処分するには、代議員会の決議を経て、総会の承認を得なければならない。
- 第26条 会員は終身会費として入学時に20,000円を納めなければならない。但し、特別会員は会費を免除する。なお、準会員については、何らかの事情で中途退学した場合、本人からの請求があれば返金するものとする。
- 第27条 本会の会計年度は毎年10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

## 第6章 支 部

- 第28条 本会はその目的を達成するために、必要があるときは支部を設けることができる。
- 第29条 支部を設置しようとする者は、その代表者から支部会則、役員等の資料を添えて本会に届け出なければならない。なお、支部活動については、支部会にゆだねるものとする。

付 則 この会則は平成25年10月5日から施行する。